



Cisco HyperFlex Systems のカスタマイズされたインストール方法

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco HyperFlex Systems が事前設定されていない場合のインストールおよび設定のワークフロー \(1 ページ\)](#)
- [VMware ESXi をインストールします。 \(2 ページ\)](#)

概要

この章では、インストール手順に進む前に、手動で HyperFlex サーバを準備するプロセスについて説明します。このカスタマイズされたインストール方法は、次のシナリオで使用できます。

- コンピューティング専用ノードを HyperFlex クラスタに追加する。
- Cisco HyperFlex System の再導入。

実行するタスクは、事前設定された HyperFlex Systems を導入する場合と基本的に同じです。事前設定されていないシステムに固有な新しいタスクは、VMware ESXi のインストールです。

Cisco HyperFlex Systems が事前設定されていない場合のインストールおよび設定のワークフロー

始める前に

Cisco HyperFlex Systems のインストールと設定の要件を確認します。詳細については、「インストールの前提条件」を参照してください。

VMware ESXi をインストールします。

手順

- ステップ 1** vCenter でクラスタを削除して、既存の環境をクリーンアップします。Cisco UCS で、vCenter MOB エントリ、UCS Manager サービス プロファイル、および VLAN を削除します。
- ステップ 2** [ソフトウェアのダウンロード](#)から **Cisco HyperFlex データ プラットフォーム インストーラ OVA** ファイルをダウンロードします。

例：

Cisco-HX-Data-Platform-Installer-v2.5.1b-26284.ova

- ステップ 3** Cisco HX Data Platform インストーラ を起動してサインインします。
- [Customized Workflow] を選択します。
 - [Run UCS Manager configuration] を選択して、UCS サービス プロファイルを設定します。
『VMware ESXi の Cisco HyperFlex システム インストール ガイド』の「Configuring Cisco UCS Manager and HX Data Platform」の項に記載されている手順に従います。

- ステップ 4** vMedia メソッドを使用して、新規の ESXi インストールを実行します。

(注) 自動 IP アドレス割り当てに Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) を使用することは推奨されません。デフォルトでは、HX Data Platform インストーラによって、ESXi サーバに静的 IP アドレスが割り当てられます。DHCP を使用する場合は、適切な VLAN を使用して ESXi でネットワークを手動で設定します。

- ステップ 5** Cisco HX Data Platform インストーラ を再度起動します。
- [Customized Workflow] を選択します。
 - [Run ESX Configuration]、[Deploy HX Software]、および [Create HX Cluster] を選択します。
ウィザードで必ず [Delete Existing Partitions] を選択してください。

VMware ESXi をインストールします。

サーバには、サポート対象バージョンの VMware ESXi が必要です。サポートされる ESXi バージョンのリストについては、最新の『[Release notes for Cisco HX Data Platform](#)』を参照してください。



重要 各 HX サーバで ESXi をインストールします。

手順

VMware ESXi イメージを Cisco HyperFlex Data Platform の [ソフトウェアダウンロード](#) ページからダウンロードします。Cisco UCS Manager を通じてアクセスできるネットワーク ロケーションを選択します。

HX カスタム ISO は、Cisco カスタム ESXi リリースに基づいています。

次に例を示します。

```
HX-Vmware-ESXi-60U2-4192238-Cisco-Custom-6.0.2.3.iso
```

次のタスク

- Cisco UCS Manager 経由で vMedia およびブート ポリシーを設定します。
- リモート KVM コンソールを開きます。
- サーバを再起動してインストールを開始します。
- Cisco UCS Manager 経由で vMedia およびブート ポリシーの変更を元に戻します。

Cisco UCS Manager を使用した vMedia およびブート ポリシーの設定

Cisco UCS vMedia ポリシーとブート ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco HX Data Platform インストーラ にログインします。Cisco UCS Manager の設定に応じて、標準クラスタに [Create Cluster] ワークフローを実行します。



- (注) サーバからサービスプロファイルの関連付けを解除する際に特定しやすくするために、*Temporary* という名前のクラスタを作成してください。

手順

- ステップ 1** Cisco UCS Manager の [Navigation] ペインで、[Servers] タブをクリックします。
- ステップ 2** [Servers] > [Policies] > [root] > [Sub-Organizations] > [hx-cluster] > [vMedia Policies] の順に展開します。
- ステップ 3** [vMedia Policy HyperFlex] をクリックします。

- ステップ 4 設定ペインで [Create vMedia Mount] をクリックします。
- ステップ 5 マウントの名前を入力します (例: **ESX**)。
- ステップ 6 [CDD] オプションを選択します。
- ステップ 7 プロトコルとして [HTTP] を選択します。
- ステップ 8 [IP Address] に HyperFlex インストーラ VM の IP アドレスを入力します (例: **192.168.10.210**)。
- ステップ 9 [Image Variable Name] として [None] を選択します。
- ステップ 10 [Remote File] に **HX-Vmware-ESXi-6.0.0-3380124-Custom-Cisco-6.0.1.2.iso** と入力します。
- ステップ 11 [Remote Path] に **/images/** と入力します。
- ステップ 12 [Save Changes] をクリックし、[OK] をクリックします。
- ステップ 13 設定ペインで、[Servers] > [Service Profile Templates] > [root] > [Sub-Organizations] > [hx-cluster] > [Service Template hx-nodes] の順に選択します。
- ステップ 14 [vMedia Policy] タブをクリックします。
- ステップ 15 [Modify vMedia Policy] をクリックします。
- ステップ 16 ドロップダウン選択項目から [HyperFlex vMedia Policy] を選択して、[OK] を 2 回クリックします。
- ステップ 17 [Servers] > [Policies] > [root] > [Sub-Organizations] > [hx-cluster] > [Boot Policy HyperFlex] の順に選択します。
- ステップ 18 ナビゲーション ペインで、[CIMC Mounted vMedia] というセクションを展開します。
- ステップ 19 [Add CIMC Mounted CD/DVD] という名前のエントリーをクリックします。
- ステップ 20 [Boot Order] リストで [CIMC Mounted CD/DVD] エントリーを選択し、[Move Up] ボタンを何度かクリックして [CIMC Mounted CD/DVD] エントリーをリストの先頭に移動させます。
- ステップ 21 [Save Changes] をクリックし、[OK] をクリックします。

次のタスク

サブ組織 *Temporary* を削除します。

リモート KVM コンソールのオープン

1 つ以上のサーバの進行状況をモニタするには、リモート KVM コンソールセッションを開いてインストール状況を監視することを推奨します。

KVM コンソールを開くには、以下の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 Cisco UCS Manager の [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。

- ステップ 2 [サーバ (Servers)] > [サービス プロファイル (Service Profiles)] > [ルート (Root)] > [サブ組織 (Sub-Organizations)] > [HX クラスタ (hx-cluster)] > [ラック ユニット番号 (rack-unit-number)] の順に展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
- ステップ 4 [Actions] 領域の [KVM Console] をクリックします。
- ステップ 5 セキュリティアラートが表示される場合は [Continue] をクリックします。間もなくしてリモートの [KVM Console] ウィンドウが表示され、サーバのローカル コンソール出力が表示されます。
- ステップ 6 インストール中に **KVM コンソール** をモニタする追加のサーバごとに、ステップ 2～4 を繰り返します。

サーバの再起動

vMedia ポリシー、ブート ポリシー、およびサービス プロファイル テンプレートを変更した後、インストールを開始するためにサーバを再起動します。

サーバを再起動するには、以下の手順を実行します。

始める前に

サーバの再起動の進行状況をモニタするには、リモート KVM コンソールセッションを開きます。

手順

- ステップ 1 Cisco UCS Manager の [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
- ステップ 2 [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] の順に展開します。
- ステップ 3 [Work] ペインで、最初に再起動するサーバをクリックし、最後に再起動するサーバを **Shift** キーを押しながらクリックして、すべてのサーバを選択します。
- ステップ 4 右クリックして [Reset] をクリックします。
- ステップ 5 [OK] をクリックします。
- ステップ 6 [Power Cycle] を選択し、[OK] をクリックします。

これで、KVM コンソール ウィンドウでモニタしているサーバが即時に再起動し、リモート vMedia マウントから起動して Cisco カスタマイズ ESXi ISO をインストールします。エラーメッセージがある場合は、無視しても問題ありません。

vMedia ポリシーおよびブート ポリシーの変更の取り消し

サーバがブート ループに陥ったり、インストール用の ISO ファイルから常に起動したりしないようにするには、ブート ポリシーへの変更を元に戻します。

始める前に

すべてのサーバがリモート vMedia ファイルから起動し、インストールプロセスが開始されていることを確認します。

手順

-
- ステップ 1 Cisco UCS Manager の [Navigation] ペインで [Servers] をクリックします。
 - ステップ 2 [Servers] > [Policies] > [Root] > [Sub-Organizations] > [hx-cluster_name] > [Boot Policies] > [Boot Policy HyperFlex] の順に展開します。
 - ステップ 3 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。
 - ステップ 4 [Actions] 領域で、[CIMC Mounted CD/DVD] をクリックします。
 - ステップ 5 [Boot Order] リストから [CIMC Mounted CD/DVD] エントリを選択し、[Delete] をクリックします。
 - ステップ 6 [Save Changes] をクリックし、[OK] をクリックします。
-

次のタスク

新しいノード

以前にクラスタ内で使用したことがない新しいノードを追加する場合は、HX クラスタを展開してください。詳細については、「[Cisco HyperFlex システム クラスタの展開](#)」を参照してください。

既存のノードの再インストール

このノードが過去にクラスタの一部になっていて、何かを修正するためにイメージが再作成された場合は、Cisco TAC に連絡して指示を受けてください。